

半導体業界のライオンズ

シエアーを目指して

凛然として神楽坂からの挑戦

—36—

アンカー・ビジネス・シス
テムズ(株) 代表取締役社長

永田 隆一



友人の中町昭人さん お送りいたします。

は、弁護士です。アメリカ

力のカーランド&エリ

ス法律事務所へ所属して

いて、年に二度ほど弊社

を訪ねていただきました

楽しい情報交換をいたし

ます。中町さんは、二〇

〇五年の六月にアメリカ

のスタンフォード大学の

卒業祝賀会に参加した

際、アップルのCEOス

ティーブ・ジョブスの祝

賀スピーチを直接聞かれ

て感動したと、スピーチ

の内容を電子メールで送

っていたきました。要

訳して、読者の皆さんに

お送りいたします。

《プロローグ》

ありがとうございます

す。世界に冠たる大学を

卒業される皆様と、こう

して同席できることを光

栄に思います。私は、大

学を卒業していません。

本日は、皆様に三つの話

をいたします。私が私自

身の人生から学んだ話で

す。

最初の話は、点と点を

つなぐという話です。

私は、リード大学を六

カ月で退学しました。一

八カ月くらいは、大学に

残り他の授業を聴講しま

りました。次の養子縁組

先へ連絡が行き、男の子

なのですが、よろしいで

すか。彼らの答えは『も

ちろんです』

ところが、母親は、育

ての親は大卒でなければ

と考えていたのですが、

養子縁組先の父親は、高

校もでていない、母親も

大学とは無縁、産みの母

親は養子縁組の書類への

サインをしません。結局、

育ての親が、この子は必

ず大学へ通わせると約束

してサインをしたという

いきさつがあったので

す。

《Birth誕生》

私の産みの母親は、若

い未婚の大学院生でし

た。私のことは、生まれ

たらすぐに養子に出す手

配が整っていました。生

まれて男の子と分かる

と、養子縁組先から、や

はり女の子がほしいと土

壇場でのキャンセルとな

お金に値するのだろうか

と考えて、退学を決心し

ました。入学六カ月目の

ことでした。

しかし、自分の興味と

直感のおもむくままの行

動は、後になってお金に

換算できないくらいに価

値のあるものだ気づく

のです。

リード大学は、飾り文

字(カリグラフィ)教育

を提供していました。私

は、そのクラスを取りす

っかり夢中で勉強しまし

た。それから、一〇年経

って、マッキントッシュ

・コンピューターを設計

することになるのです

が、美しいフロント機能

を備えてマックを世に出

すことができました。大

学を退学(ドロップアウ

ト)してカリグラフィの

クラスに寄り道(ドロッ

プイン)しなかったら、

素晴らしいフロントはマ

ックに載ることはなかつ

たのです。点と点が繋が

っていくのです。自分の

人生、とにかく信じるこ

とです。点と点が必ず繋

がっていくのです。そう

信じて確信を持ってここ

ろの赴くままに生きてく

ださい。

《アップルからの解任》

二つ目は、愛と敗北の

話です。

私は幸運でした。自分

が何をしたいのかを若い

うちに見つけることが出

来たからです。二〇歳の

ときに友人と自宅のカレ

ージでアップルを始めま

した。一〇年経って、従

業員は四〇〇〇人、二〇

億ドルの企業になってい

ました。三〇歳になった

ばかりの私は、突然会社

から解任されたのです。

会社が大きくなりとても

有能な人を採用しまし

た。取締役会は、すべて

その有能な人の味方にな

っていたのでした。落ち

込みました。

しかし、アップルをク

ビになったのは、人生最

良の出来事だったという

ふうに変わってき

ました。人生でもっとも

クリエティブな時代に

自由になれたのですか

ら。そして、NEXTと

言う会社をつくり、ピク

サーという会社をつくり

ました。さらに素晴らし

い女性と出会い恋をし

て、彼女は、私の妻にな

ります。

ピクサーはコンピュー

ター・アニメーションに

よる世界初の映画『トイ

・ストーリー』を創りま

す。また、思ってもみな

かったことがおきます。

NEXTが企業再生努力

中のアップルを買収し

て、私がアップルへ復帰

することになるのです。

アップルをクビになら

なければ、こうした事は

何一つ起こってはいない

のです。

落ち着いてしまったら

だめです。だから探し続

ける事が大切です。

《DEATH死》

三つ目は、死に関する

話です。

私は、一七歳のときか

ら『もし今日が人生最後

の日だとしたら、今日や

る予定のことを、本当に

やれたらどうか』と自問

することを日課としてき

ました。その答えがNO

の日が続けば、そろそろ

何かを変える必要がある

など思うわけです。

さて、私は一年前に癌

と診断されました。すい

臓にくっきりと腫瘍が映

ったのです。主治医は、

生きて三カ月から六カ月

それ以上の寿命は望めな

いと断定でした。数カ

月で子供たちや愛する妻

に別れを告げなくてはな

らないと思いつながら、翌

日に生体検査を受けまし

た。なんと、きわめて稀

な、手術で直せる種類の

すい臓癌だったので。

手術を受け、一年経ち、

私は今もこうして元気で

す。

死は、我々が皆共有す

る終着点です。皆さんの

時間も限りが有る。だか

らこそ、自分の内なる声

・こころ・直感を信じて

ください、けっして世間

の意見などの雑音に惑わ

されてはいけません。

《ハングリーであれ・お

馬鹿であれ》

私が、常に自分自身が

そうありたいという言葉

を新たな人生を歩み出す

あなたたちへ送ります。

STAY HUNGR

Y

STAY FOOLI

SH

ご清聴ありがとうございます

いました。(隔週掲載)